

四 次の古文を読んで、あとの(一)から(四)までの問いに答えなさい。(本文の……の左側は現代語訳です。)

分別ぶんべつ無なくて分別ぶんべつ面めんする人こそいとにくけれ。其そのの分別ぶんべつ面めんする人は常にふだんは全ぜんく氣きに入いらなない

物ものをもいいはず、いかに神かみ妙みょうに構かまへ、公こう事じ沙しゃ汰たいの場ばには、分別ぶんべつのよよきいる様よう子し 公こうの評ひょう議ぎ

人ひとの一番いちばんに理り究きゅうをいいふていののききたたるるああととに、頭あたまを傾かたけ、事ことありげに作つくり声こゑ 筋すぢの通とつた論ろん理りを言いつて

して存ぞん分ぶんをいいひ、定さだめて違ちがひたる理りの有あるここそそすするららめと思おもへば、^①ささはは思おもうこころろ ききつつと 有あるに違ちがひない

ななくくて始はじめの理りにわわけももななき枝えだ葉はをつつけてななががななといいひ、常つねに物ものをも いはいはず公こう事じ沙しゃ汰たいの場ばには、いいららざる事ことをももななががななといいふを分別ぶんべつ者ものと

心こゝろ得とると見みえたり。ささにはああらず、そそささううにもああれ、閑ひまかにもああれ、理り筋すぢ 落おち着きいた態たい度どで

を違ちがへずいいふをここそ、分別ぶんべつ者ものといいふべべけれ。かかややううに無な分別ぶんべつにて分別ぶんべつ面めん

する者ものを、主しゅたる人見けん誤ごりて後見こうけんをささすれば、万ばん事じ物ぶつが左ひだり前まへになりて、
補ほ佐さ役やく 物もの事じが順じゆん調てうにいかなくなつて

下々まで風俗ふうぶく悪わるしくなるものなり。

生活せいかつ上の習慣じゆんぐわん

(「身の鏡」による)

(一) 波線部なせんぶアからエまでの中から、主語しゆごが他たと異なるものものを一つ選えらんで、そのかな符あざな号ごうを書かきなさい。

(二) ささははなくくて、^①のの内うち容ようとして最もも適あ当たうなものものを、次つぎののアからエまでの中から選えらんで、そのかな符あざな号ごうを書かきなさい。

ア 別べつの道みち理りを示しすののででははなくくて
イ 発はつ言げんするする時ときの態たい度どが落おち着きかなくくて

ウ 公こうの評ひょう議ぎの場ばで長なが々と発はつ言げんするするののででははなくくて
エ 自みづか分の意い見けんに全ぜんく自みづか信しんがももててなくくて

(三) 筆ふで者ものは、どどのよような人ひと物ぶつを分別ぶんべつ者ものと呼よぶこことがででききると考かんえていいるか。その条じょう件けんにああたるここととばを、古こ文ぶんの中ちゆうからそそののまままま抜はき出だして、八はち字じで書かきなさい。

(四) 次つぎののアからエまでの中ちゆうから、その内うち容ようがここの文ぶん章しょうに書かかれていいるこことと一いつ致ちするものものを一つ選えらんで、そのかな符あざな号ごうを書かきなさい。

ア 公こうの場ばでわわざと分別ぶんべつののなないいふふりりををししていいる人ひとには、信しん用ようが置おけない。
イ どんどんななととききも落おち着きいていいる人ひとは、筋すぢ道みちの通とつた考かんえをももつつていいる。
ウ 主しゅ人にんが下したの者ものから助すけけられられらばばかりかりいいては、世よの中ちゆうが良よくくなららない。
エ 見けん誤ごつて無な分別ぶんべつな者ものを補ほ佐さ役やくににすすると、物もの事じが順じゆん調てうにいかなくくなる。

オ 筋すぢ道みちの通とつた考かんえ方かたがででききる学がく者ものに任まかせておおけけば、万ばん事じううままくくいいく。
(問題もんだいはこれこゝで終しまわりです。)